

消 防 団

## 消防団の沿革

明治22年	4月	貝塚町消防組発足（町制施行により）
明治23年		島村消防組発足
大正元年		麻生郷村・木島村消防組発足
大正7年		西葛城村消防組発足
大正12年		南近義村消防組発足・北近義村消防組発足
昭和6年	4月	貝塚町・麻生郷村・島村・南近義村・北近義村が合併、貝塚町となる
昭和7年	7月	大阪府令第49号により、新たに貝塚町消防組を次の通り編成 第1部 25人 第4部 25人 第2部 25人 第5部 25人 第3部 25人
昭和10年	4月	木島村編入に伴い2部増設7部となる
昭和12年		1部増設し8部となる 1部15人とし、計120人とした
昭和14年		貝塚町消防組に西葛城村消防組編入
昭和14年	4月	警防団令発令により貝塚町消防組廃止、貝塚警防団を次の通り結成 第1分団 北校区 第2分団 東校区 第3分団 南校区 第4分団 西校区 第5分団 木島校区 第6分団 葛城・蕎原校区
昭和22年	4月	勅令第185号により貝塚警防団を廃止し貝塚市消防団発足 （6個分団8個班を編成、定数215人）
昭和22年	9月	貝塚市消防団設置条例制定 消防団員定数362人
昭和23年	3月	第2分団の手曳ガソリン班を第7分団（麻生中）、第5分団の手曳ガソリン班を第8分団（三ツ松）として分設
昭和27年	7月	第9分団（津田）増設
昭和30年	3月	大阪府知事より表彰旗を受章
昭和32年	2月	日本消防協会長より表彰旗を受章
昭和33年	3月	国家消防本部長より竿頭綬を受章
昭和38年	10月	第7回大阪府消防操法訓練大会ポンプ車操法の部で第6分団優勝
昭和39年	3月	消防庁長官より表彰旗を受章
昭和54年	10月	第23回大阪府消防操法訓練大会ポンプ車操法の部で第5分団第3位
昭和56年	3月	消防団員定数を250人に条例改正
昭和58年	2月	日本消防協会長より竿頭綬を受章
平成2年	9月	第34回大阪府消防操法訓練大会小型ポンプ操法の部で第3分団第2位
平成3年	3月	大阪府消防協会長より表彰旗を受章
平成5年	3月	大阪府知事より表彰旗を受章
平成7年	3月	大阪府消防協会長より竿頭綬を受章
平成8年	2月	日本消防協会長より竿頭綬を受章
平成14年	2月	日本消防協会長より表彰旗を受章
平成16年	9月	第48回大阪府消防操法訓練大会小型ポンプ操法の部で第8分団第3位
平成21年	7月	「大阪の消防大賞」受賞

## 1 消防団主要行事

月	行 事	主 催	場 所
1	消 防 出 初 式	貝 塚 市	コスモスシアター前庭
1	文化財防火デー消防訓練	貝 塚 市	孝 恩 寺
2	消防団レクリエーション大会	貝 塚 市 消 防 団	J J ク ラ ブ
3	大 阪 府 消 防 表 彰 式	大阪府・大阪府消防協会	大阪府立青少年会館
5	貝塚市新任団員講習会	貝 塚 市 消 防 団	消 防 本 部
5	大阪府消防協会泉南地区支部幹部・新任団員教育訓練	大阪府消防協会泉南地区支部	岸 和 田 市
6	貝塚市幹部団員教育訓練	貝 塚 市 消 防 団	消 防 本 部
6	献 血	貝 塚 市 消 防 団	消 防 本 部
8	大阪府消防協会泉南地区支部総合訓練	大阪府消防協会泉南地区支部	岸 和 田 市
9	大阪府消防大会・消防操法訓練大会	大阪府・大阪府消防協会	万 博 記 念 公 園
9	防 災 講 演 会	貝塚市・貝塚市消防団	コスモスシアター
10	交 通 安 全 運 転 講 習	貝 塚 市 消 防 団	消 防 本 部
11	消防署・消防団合同消防訓練	貝 塚 市	鳥羽グラウンド
11	秋の全国火災予防運動街頭キャンペーン及び火災予防広報	貝 塚 市 消 防 団	市 内 各 地
12	歳末火災特別警戒	貝 塚 市	市 内 全 域

## 2 消防団員階級別定員と実員配置

(平成21年12月31日現在)

階級別 人員	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	計
消防団本部	1	4					2	7
第1分団			1	1	1	3	19	25
第2分団			1	1	1	3	20	26
第3分団			1	1	1	3	18	24
第4分団			1	1	1	3	19	25
第5分団			1	1	1	3	20	26
第6分団			1	1	1	5	26	34
第7分団			1	1	1	3	18	24
第8分団			1	1	1	3	20	26
第9分団			1	1	1	3	18	24
計	1	4	9	9	9	29	180	241
定員	1	4	9	9	10	30	187	250

## 3 消防団員の勤続年数

(平成21年12月31日現在)

年 数 分団名	5年 未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年 以上	平均
消防団本部		1	1			1	4	27.0
第1分団	5	7	1	1	4	5	2	14.8
第2分団	9	4	7	5	1			9.2
第3分団	3	9	3	5	4			11.4
第4分団	5	9	4	6	1			9.7
第5分団	6	11	5	1	2		1	9.2
第6分団	13	11	6	3			1	7.7
第7分団	6	5	5	6		2		10.9
第8分団	5	10	4	4	1	2		9.9
第9分団	4	6	4	4	2	2	2	13.5
計	56	73	40	35	15	12	10	12.3

#### 4 消防団員の年齢状況

(平成21年12月31日現在)

年齢 分団名	18歳～ 20歳	21歳～ 30歳	31歳～ 40歳	41歳～ 50歳	51歳～ 60歳	61歳 以上	平均
消防団本部			1	1	3	2	55.4
第1分団		1	6	11	5	2	46.0
第2分団		2	14	4	5	1	41.6
第3分団			12	12			40.0
第4分団		3	13	9			37.5
第5分団			10	11	5		42.7
第6分団		4	19	9	2		37.8
第7分団		5	9	8	2		38.8
第8分団		1	12	9	3	1	41.5
第9分団		2	7	4	8	3	47.0
計		18	103	78	33	9	42.8

#### 5 消防団機械器具配置状況

分団名	車両番号 型式名	車名	年式	型式及びポンプ性能
第1分団	和泉88す9002 V20B型	三菱シ トーハツポンプ	H8 H8	CD-1 C-1級
第2分団	和泉800ね2000 P382型	三菱シ ラビットポンプ	H19 H19	CD-1 C-1級
第3分団	和泉800と3000 V20E型	三菱シ トーハツポンプ	H18 H18	CD-1 C-1級
第4分団	和泉88せ・973 V20C型	三菱シ トーハツポンプ	H9 H9	CD-1 C-1級
第5分団	和泉800す5000 P382型	日野 ラビットポンプ	H21 H21	CD-1 C-1級
第6分団	和泉830と6000 P382型	三菱シ ラビットポンプ	H19 H19	CD-1 C-1級
第7分団	和泉88す7093 V20B型	三菱シ トーハツポンプ	H7 H7	CD-1 C-1級
第8分団	和泉830は119 V20D型	三菱シ トーハツポンプ	H12 H12	CD-1 C-1級
第9分団	和泉831ぬ119 V20E型	三菱シ トーハツポンプ	H15 H15	CD-1 C-1級

## 6 消防団員報酬及び費用弁償

区分	報酬年額
団長	106,000円
副団長	74,000円
分団長	59,000円
副分団長	43,000円
部長	38,000円
班長	33,000円
団員	28,000円
火災・訓練 警戒出動	1回につき 2,100円

## 7 消防団員出動状況

種別	延人員
火災出動	581人
災害及び警戒出動	482人
訓練出動（月例訓練含む）	3,393人
計	4,456人

## 8 表彰

消防庁長官表彰	永年勤続功労章	1
大阪府知事表彰	消防勤続功労章	1
	消防功労章	5
大阪府消防協会長表彰	永年勤続章	6
	勤続章	7
	勤功章	4
	精勤章	6
大阪府消防協会泉南地区支部長表彰	消防功労者表彰	15
貝塚市消防団長表彰	団長記章	15
	精勤章	19
	感謝状	11
大阪の消防大賞	消防功労表彰	174